



志木二中だより

令和3年度10月号

令和3年10月1日(金)

～気持ち良い あいさつ溢れる 志木二中～

志木市立志木第二中学校

ふれあい講演会

校長 本 莊 真

9月11日(土)の3,4校時に、保護者や地域の方にご自身の職業や中学生時代を振り返ってのお話をしていただく「ふれあい講演会」を実施しました。キャリア教育の一環として、学校運営協議会の臼田会長と北嶋副会長が中心となって企画・運営をしてくださいました。今回お話しくださったのは6名の方々。医療機器メーカー、建築設計士、テクノロジーアドバイザー、大学英語講師、ミセスアース世界大会出場者(ウォーキングインストラクター、司会業、セミナー講師、モデル、学会論文翻訳業、為替トレーダー、美容整体師)、牧師と多彩な顔触れ、それぞれが魅力いっぱいのお話を。3年前に同様なことを行った際は、体育館に全校生徒を集めその前でお話をいただきましたが、今回は講師が会議室に、生徒は各教室にいてのオンライン配信としました。

生徒が書いた感想文をすべて読ませてもらいました。「知らない職業がいっぱいある」「仕事って一つじゃなくてもいいんだ」「全員が楽しそうに生き生きとお話しされていた」

「自分の仕事に誇りを持っているのが伝わってきた」「中学の勉強が将来に役に立つことがわかった」など。講師の方が発した一言に心打たれたとも。『お金は誰かを笑顔にした対価』『失敗を恐れずチャレンジしよう』『デザインはそれを誰かが使って完成する』『学問はあくまで出発点』『物事に良いも悪いもない。考え方によって良くも悪くもなる』『INPUT<OUTPUT』『若い≠未熟』『あなたの強みは何?』『自信をもって、自分を好きになって』『仕事の90%以上が人の話を聞くこと』用紙の裏にびっしりとメモ書きをしている生徒も。日々、閉塞感を感じて生活しているからか、話を聞いて何か将来に向けての光明を見出した人が多かったようです。各家庭へも配信でき、多くの保護者が見てくださったことはプラスでしたし、アンケート機能を活用してたくさんの感想をいただきました。帰宅後に親子で職業や夢について話をする機会を持てたようであり、実施して良かったと思えた「ふれあい講演会」でした。

9月22日(水)6校時に志木市の英語スピーチコンテストに出場する3年生4名が、若駒館に集まった3年生の前でスピーチを披露してくれました。(コンテスト自体は録画したビデオ審査になりました)長い期間練習してきた成果を存分に発揮しており、堂々とした態度は大変立派でした。

感染者数は減少してきているものの、まだまだ気は抜けません。創意工夫を凝らしながら、生徒の学びを保証し活躍の場を失くさないよう努めてまいります。引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

